



©吉田裕馬

2022年11/12 (土) 16:00~20:00

▼会場: 上智大学四ツ谷キャンパス

▼言語: 日本語/ドイツ語(フランス語) ※一部通訳あり(ドイツ語)

◆◆◆プログラム◆◆◆ 司会: 小松原由理

16:00-16:20 趣旨説明: Einführung: 小松原由理 Assoc. Prof. Yuri Komatsubara (上智大学准教授)

16:20-16:50 香川檀 Prof. Dr. Mayumi Kagawa (武蔵大学教授)

Parallele Geschichten der Bilderkundung: Das „Dada-Paar“ Höch und Hausmann „danach“

イメージ探求の平行・ヒストリー: “ダダ・カップル”ヘーヒとハウスマンの“その後”

16:50-17:20 河本真理 Prof. Dr. Mari Komoto (日本女子大学教授)

Un dialogue non sans heurts : Raoul Hausmann et Kurt Schwitters

葛藤する対話: ラウール・ハウスマンとクルト・シュヴィッターズ

17:20-17:50 塚原史 Prof. emeritus Fumi Tsukahara (早稲田大学名誉教授)

Essai d'analyse des rêves dans les œuvres au temps de Post-Dada—Grains et Issues (Tzara), Hylé (Hausmann) et Dogra Magra (Yumeno Kyusaku)

ポスト・ダダ時代の「夢」の深層を探る—ツァラ『種子と表皮』、ハウスマン『ヒュレー』、夢野久作『ドグラ・マグラ』をめぐる

【10分休憩 Pause 10 Minuten】

18:00-18:30 エレーヌ・ティラール Dr. Hélène Thiérard (ザールラント大学PD)

Romantik und Utopie in Raoul Hausmanns Hyle: Frauen, Göttinnen und Pflanzen

ラウール・ハウスマンにおけるロマン主義とユートピア—女たち、女神たち、植物たち

【10分休憩 Pause 10 Minuten】

18:40-20:00 コメント: 西岡あかね Assoc.Prof. Akane Nishioka (東京外国語大学准教授)

全体ディスカッション

<要事前申込み(定員あり)>: 下記URLまたはQRコードよりお申込み下さい。

締切 11/10(木)

<https://eipro.jp/sophia/events/view/EU20221112>



※ご参加に必要な情報は、お申込み受付完了後、講演会の前日(11/11(金))にメールにてご案内申し上げます。

また、定員に達した場合、締切日に先立ちお申込みの受付を終了とさせていただきます。

国際シンポジウム
Raoul Hausmann und Postdada Avantgarde in der Zeit der Krise
ラウール・ハウスマンとポストダダ

危機の時代のアヴァンギャルド

上智大学ヨーロッパ研究所
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学中央図書館7階 721B

科研費
KAKENHI

科学研究費 基礎研究(c)
小松原由理

